（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	重症児デイサービス　プエオキッズ 重症児者デイサービス　プエオウイング

公表日　令和　８年　３月　17日

		チェック項目	はい	いいえ	無回答 不　明	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	13	1	・利用児者は多いが、マットなどで工夫している ・長期休暇などは特にプロンボードなどが増え、子ども達の過ごす場所の確保が難しいが、マットを避けたり椅子の配置を考え工夫はしている ・ベッドの数を調整している ・都度、バギーなどを移動させて場所の確保に努めている	・児発の子どもたちは定員内であっても、放デイや生活介護が一緒にいるためスペースも狭く安全とは言えない ・スペースが足りない ・建物の増築が必要と思う ・利用児者によって利用時間が短い子もいるので一時的に狭く感じる時がある ・事業の拡大に伴い、利用児者のものが増えるなどでスペースが一時的に足りなく感じることがある →法律を遵守し、規定内で受け入れています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	9	3	・なるべく、マンツーマンで見れるようにはしている	・定員が毎日オーバーしており、職員も少ないこともあり安全とは言えない ・送迎時はスタッフの人数が足りない時がある ・学校のお迎え、訪問看護等で一時的に少ない時間帯がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	4	3	・バギーやモノにあふれており、スタッフは協力して安全スペースを確保しようとしている	・安全スペース確保に努めているが、上司から工夫などは言われない →工夫しながらスペースを確保することは聞いている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	4	3	・毎日消毒している（朝・１３時）	・感染委員が動き、より清潔になるような対策をしてくれたばかり（１２月）
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	15	4	1	・個室はないため、カーテンで仕切り感染者の対応はできている ・ものの場所を変えながら、作っている	・静かに休まる場所はない ・ものが多くスペースがない
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	6	2		・それぞれの委員で、業務改善を試みているが、現状と合っていない部分もある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	8	2	・行事でアンケートをとっている	・保護者の評価がわからない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	2		・月１回会議がある	・そうとは思えない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	7	4		・第三者が入っていいるが、改善されている実感がない ・外部評価の結果とのその後の業務改善に繋がっているかよくわからない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	11	1		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	20	1	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	20	1	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	3	1		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20	1	1	・ファイリングされ、いつでも確認できる	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	3	3		

		チェック項目	はい	いいえ	無回答 不　明	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	19	1	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18	2	2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	20	1	1	・ここに応じて、気をつけている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18	3	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	19	2	1	・必ずではないが、行われている ・朝のミーティング	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	11	10	1	・パートで早帰りが多いが、気になる点はリーダーに伝えている	・時間がなくてできていない ・していない ・送迎時間と重なっている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	19	2	1	・特記事項に記載している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19	1	2		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	20	2			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20	1	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	1	1	・家族から他施設などの様子を聞いたりする	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21		1	・（担任との意思疎通はとっていると思う） ・担当者会議を実施している	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	10	6	6		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	11	3	・感染症の流行時など、難しい時も多いと思いますが、外出の機会は多く問題なく他人と触れ合えていると思う ・スタッフの子どもが遊びにきている	・交流できる場が増えると良い ・少ないと思う ・重度で、なかなか交流に出られない、医ケアの時間で難しいこともあるので、来所してくれるとありがたい（感染状況も見ながら）
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20		2	・送迎時に話しができている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	8	3		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17		5		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	20	1	1		

		チェック項目	はい	いいえ	無回答 不　明	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	20		2		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	21		1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	19		3	・保護者会の開催	・きょうだい同士の交流も設けたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	19	1	2		・保護者から入浴等の依頼があって、上司に伝えているが入れていない
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	21		1	・月１回お便りの発行 →PDFでの配布にし、ペーパーレスとなった	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20	1	1	・名前のついたものはシュレッダーしている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	21		1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	18	2	2	・招待はないが、近所の施設と交流している	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20	1	1		・職員にはしているとおもうが、家族にはしていないと思う
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	19	1	2	・年１～２回行われている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	21		1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	20		2	・経口摂取だけではなく、皮膚に触れないなど対応をしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	19		3		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	18	2	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	21		1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	21		1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	19		2		